

5月16日（金）日高川町庁舎前集会・2025年原水爆禁止国民平和進行 日本政府は禁止条約の署名・批准を！！



国民平和進行は、5月16日（金）日高川町へ入りました。日高川町では、原孝文町議と県事務局で町長室を表敬訪問。町長選挙の為、戸根康文公室長に挨拶をおこないました。事前に、原孝文町議が久留米啓史町長より、協賛金とペナントを受け取っています。また、窓口を設置いただいている被爆者募金箱も、今年の募金箱に交換しました。

庁舎前出発集会が始まります。進行は教職員組合の伏木さんです。最初、県実行委員会より、5月7日橋本市を出発し、日高地域の最後に日高川に参っておりますと報告しました。次に、戸根康文公室長は、「ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザ攻撃、最近ではインドのパキスタン攻撃など、世界各地でこのような事が起きれば、やがて核兵器の使用と向かうかもしれません。そのような事から平和進行は大変意義あるものと思います。」と激励のは挨拶を頂きました。日高川町議会山本善平副議長からは「今年はヒロシマ、長崎の原爆投下から80年、一瞬にして21万人の命を奪い、今なお被爆者に苦しみを与えています。みなさん、日本被団協がノーベル平和賞を受けた事は、ウクライナ侵略戦争、ガザ地区への攻撃、世界各地で起こっている武力紛争に心痛めている人達に希望をもたらす出来事でした。核廃絶をめざす永年の取り組みの中、日高川町も宣言している非核平和宣言は1600自治体を越えています。」と連帯の言葉を頂きました。そして、わかやま市民生協・中山愛郷さんが決意表明、集会最後は、教職員組合の竹林さんが集会アピールを読み上げ、確認されました。参加は22名でした。平和進行は、庁舎前を東に回り、県道26号線に出、今度は西に向いてJA日高川支店まで歩いて、折り返し町庁舎まで歩きました。

県事務局